

東京湾水先区水先人会 会報

ANJIN

vol.19

2020 Summer

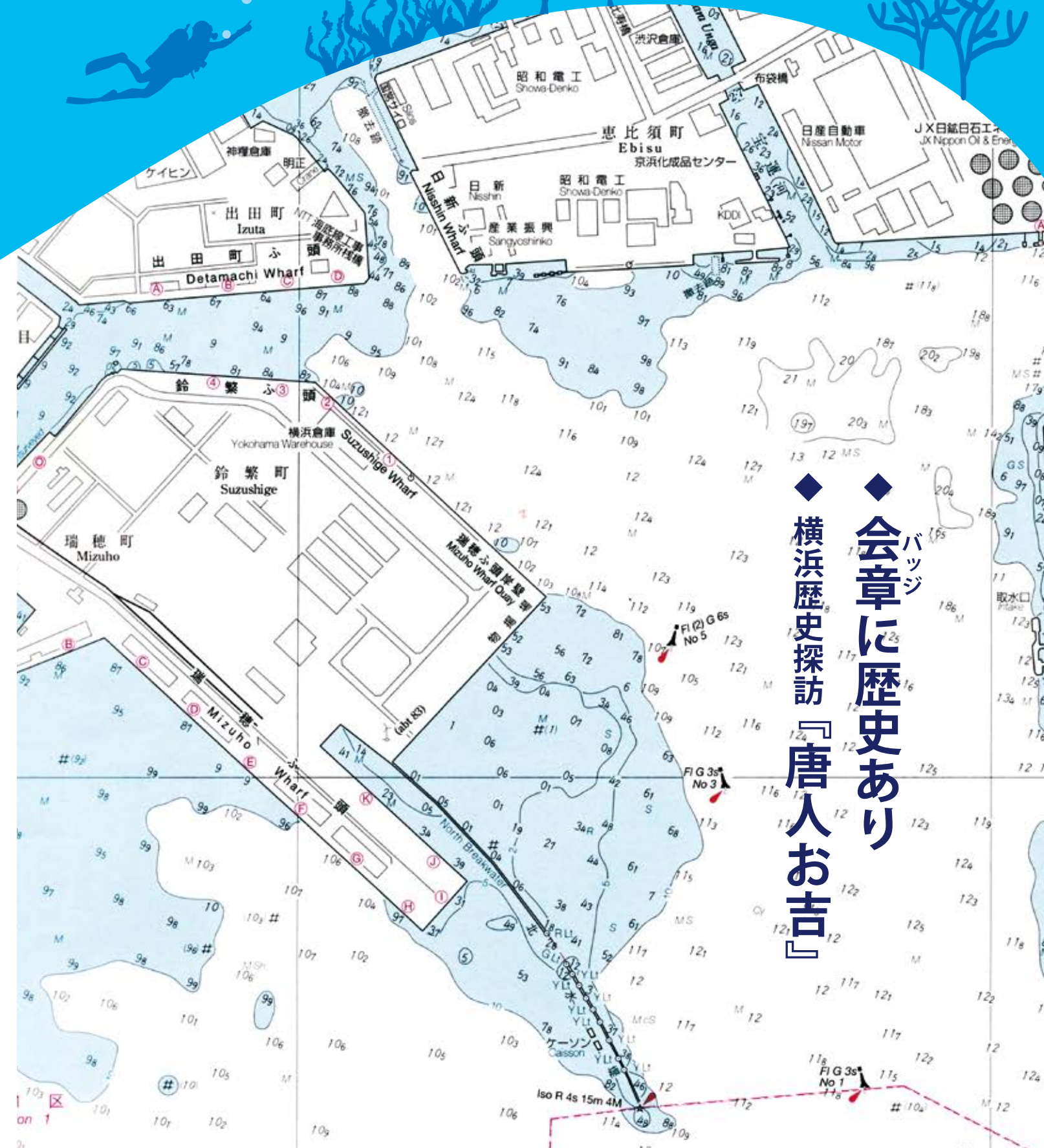
季刊



<http://www.tokyobay-pilot.jp/>

ANJIN 第19号 2020年7月1日発行
発行所／東京湾水先区水先人会
編集・発行／広報チーム
〒231-0023 横浜市中区山下町1番2
パイロットビル
TEL 045-650-3180

記載内容に係わる個人情報や会報内容について、当会に無断での転載・転用を禁止する。



◆ バッジ
会章に歴史あり
◆ 横浜歴史探訪『唐人お吉』

目次 Contents

Vol.19 ～ 2020 Summer ～

OB だより	3
会章(バッジ)に歴史あり	4-5
横浜歴史探訪 ～横浜元町にも住んだ「唐人お吉」～	6-7
私のキャリア	8
私の旅行記	9
伝えたいこと ～様々なことを思い出す桜かな～	10-11
PEOPLE	12
MY FAVORITE	13
交友	14
人事短信／期待の星	15

表紙／海図コピー (海上保安庁・海図 W66「横浜」から転載)

ANJIN【あん-じん・按針】とは？

磁石によって船の航路を決めること。また、その人。水先案内。按針手。

《補説》水先案内の意の「あんじ(行師)」の変化したものか。

(「デジタル大辞泉」から転載)

OBだより

懐かしの“DIAMOND PRINCESS”号

新型コロナウイルスによる感染が世界中に蔓延して各国とも拡散防止に必死です。特に、わが横浜では2月3日入港の“D.P 号”の乗客・乗組員の感染が急増しました。国を挙げての対応に追われ、連日メディアの真贋入り混じったにわか専門家の発言に「何が真実か」理解できず、映像と文字を眺める日々の中で“D.P 号”船長の心労は察するに余りありました。そうしたある日、人づてにドイツのメルケル首相が国民に向けた演説文(コロナ対応に向けて)の和訳が手に入り、その科学に基づいた人間重視の内容に引き込まれました。小学校高学年にも理解できるほどの心のこもった語り口でした。一国を預かる人の言葉は「斯くあるべし」と確信しました。

前置きが長くなりましたが本題に入ります。

私は1999年1月1日旧東京湾水先区の水先人となり、最初の水先業務は1月4日(11:45～13:00)の川崎の日本ガテックス棧橋からK-1(川崎沖)錨地まで(船名CHEMBULK FORTITUDE、7,916G/T 喫水8.9m)でした。その時の緊張感は現在でも思い出します。

その中で“D.P 号”の第1回目は、自身では第4,666番船に当たる横浜入港(2013年4月15日06:05 P.S から大棧橋C岸壁右舷付け07:05)業務でした。余談になりますが、本船は私の故郷にある三菱重工業(株)長崎造船所で建造されました。完工前の艤装工事中の火災事故により、同時並行で建造中の姉妹船“SAPPHIRE PRINCESS”と船名を差替えたという話を帰省中に関係者から直接耳にした時、船乗り言葉で「ダンキガワルイ船^{※1}」という語感が残りました。このことが“D.P 号”の業務連絡を受けた時、一瞬脳裏をよぎり緊張感を覚えました。昇橋し、挨拶の後に大棧橋着岸までの手順を説明すると、英国紳士然とした船長は穏やかな微笑みを見せながら、「これから横浜をベースにしたクルーズが始まり、連続して寄港する」旨を話してくれました。操船模様については私の説明を聞きながら、

① タグボートは1隻のみ船尾に係止

② 綱取ボートは使用しない

③ 岸壁への接舷は20m平行で一旦停止する(陸上の送迎者と船客とがお互いに顔を識別できるように配慮している)

とのアドバイスがあり、その他については私の計画を了解してくれました。

横浜ベイブリッジ下航過時(計算上は安全な垂直距離を確保できているものの)通り抜けるまで極度の緊張感が走り、思わずウイングに出て橋を見上げました。業務時間が1時間で終了したときの満足感は今ははっきり覚えています。下船後、ボートは使わず大棧橋から本部事務所までこの余韻に浸りながら歩きました。

本船は2014年3月に若干の改装工事後、船籍をバミューダから英国に変更しました。本船水先業務は都合7回(2014年5月24日出港、6月11日入港、7月26日入港、8月22日出港、2015年5月15日出港、8月3日入港)いずれもP.S～大棧橋間の作業でした。また、本船と因縁深い“S.P 号”も2015年8月14日に担当し、“SUN PRINCESS 号”他の大型クルーズ船も含め10数隻担当しましたが、“D.P 号”の初回業務を上回る印象は経験しませんでした。ちなみに私の水先業務は18年間、通算6,061隻(2017年10月29日)で終了しました。

“D.P 号”はコロナ騒動の後、暫くの間、本牧の三菱ドックに係留されていましたが、国際色豊かな乗客を乗せて、また横浜に戻って来て欲しいと思う日々です。

最後に新しい水先制度の下で水先人一人一人が輝かしい歴史を積み上げるよう祈念しています。

※1 P.S……………パイロットステーションの略であり水先人が乗下船する場所のこと。本稿では、横浜パイロットステーションを示す。
※2 ダンキガワルイ…主機の暖機不足で低速でしか航行できないこと。なかなか増速できないことから、スタートしてもゴールに辿り着けない、(暖機が悪い) 調子が上がらないといったような意味の船乗り言葉
※3 本牧の三菱ドック…三菱重工業(株)横浜製作所



Profile

- ・1943年長崎県生まれ
- ・船長歴11年3ヶ月
- ・水先人歴18年10ヵ月
- ・2017年退会

東京湾水先区水先人会
元一級水先人

高石 勝

(たかいし まさる)



会章に歴史あり

バッジ



2019年11月末、東京湾水先区水先人会の品格を表し、本会の一員としての自覚を高めるとともに会員及び職員の一体感の醸成を図るためにバッジを作成し各人に貸与されました。

バッジは、組織の共通理念や相互信頼と愛社精神の象徴として多くの企業や団体で用いられています。新制度になって、船会社等を経由せずに直接当会に入会された水先人諸兄にとって、初めてのバッジとなるのではないのでしょうか。

今回は、バッジ作成・貸与に至る歴史をひもといて会員諸兄のご理解を深めたいと思います。

水先人会統合

新制度となり、旧横須賀水先人会と旧東京湾水先人会と旧東京水先人会が2007年4月1日に統合して東京湾水先区水先人会が誕生し、2008年4月1日に新制度1期生の方々が入会しました。

そこで、新しい水先人会への移行を機に、また関係者の理解がさらに深まるように、当会に相応しいロゴマークを作成すべく、2009年4月15日にプロジェクトチームが結成されました。

プロジェクトチーム

新しいことには若い柔軟な頭が良からうということで、入会まもない一級水先人の齊藤剛水先人(2007年入会)、村田嘉隆水先人(2006年入会)、紺頼英雄元水先人(2006年入会)及び森田良和水先人(2008年入会)(チームリーダー)の4人がプロジェクトチームに選ばれました。

メンバーだけでロゴマークのアイデアを考えるのではなく、「新しい組織に、新しいロゴマークを！」のスローガンを掲げて会員(家族を含む)及び関係者(事務局、関係会社等)に公募しました。

公募の結果、21作品の応募がありました。

プロジェクトチームがその中から4作品に絞り込み、プロのデザイナーに選んでもらおうと相談しました。しかし、公明正大にコンペをして選んだ方がよいということになり、5人のデザイナーに4作品をデフォルメしたロゴマークを出してもらいコンペをすることにしました。



検討のなかで登場した多様なデザインの一部

ロゴマーク

コンペには25種類ものデザインが集まり、デザイン的に魅力のあるものが多く、ひとつに絞り込むのではなく、使用用途別にロゴマークを変えることとしました。

そして、コンペで1番良かったロゴマークにマイナーチェンジを要請して3種類のロゴマークが2009年10月2日に完成しました。

しかし、バッジを製作するか否かは別の検討機会として、デザインのみを決定しました。

2009年10月9日、プロジェクトチームの答申を受けて、当会のロゴマーク3種類が正式に採用されました。

当時の福永昭一元会長談

確かにバッジを作るところまでには一步届きませんでした。竜が向かい合っているロゴマークを付けたパイロットキャップを作成し、会員と職員の希望者に配布するとともにコンプリメントとして本船船長に配りました。(確か実費精算だったと思います。)

私も長らくこのキャップをゴルフコンペで愛用したのを懐かしく思い出します。バッジという良いものを良い時期に作成に踏み切られたことに乾杯!

今回の公募で応募作品が採用された村田嘉隆水先人(盾形のロゴマーク)、故山崎正敏水先人(横型のロゴマーク)及び故岩下光男水先人(竜が向かい合ったロゴマーク)には謝礼が贈呈されました。

終わりに

ロゴマークが正式に採用されてから10年、2019年11月にバッジが作成され、全員に貸与されました。プロジェクトチームのメンバーだった皆様には感慨ひとしおのことと思います。皆様のご尽力に感謝致します。

会員及び職員の皆様、東京湾を守る盾となるべく積極的にバッジをはい用して下さい。ただし、紛失したら悪用されるおそれがありますから、バッジの管理にはくれぐれも注意して下さい。2個目は貸与ではなく実費となります。

1 盾形のロゴマーク



当会のシンボルマークとして使用し、「東京湾水先人会は東京湾を守る盾となれ」という思いが込められています。

※主としてエンブレム/バッジ/パイロットブック名刺/封筒/ホームページに使用します。

2 横型のロゴマーク



※主としてレターヘッドなどに使用します。

3 竜が向かい合っているロゴマーク



※主として帽子の徽章などに使用します。

船蔵前会長談

実は、故山崎会長が就任された際に、水先人会の一体感を進めたいので何とかバッジ作製を実現したいとおっしゃっていました。その後2年かかりましたが、役員賛同を頂き、理事会に諮り、承認を得て、故山崎会長の遺志を実現することができました。皆様が胸に誇らしくバッジをはい用しているのを見るにつけ嬉しく思っています。

因みに、会員証(IDカード)も写真を撮り直して新替えしましたが、紛失したら2個目は実費となります。

一級水先人 恩田 裕治・森 裕康・木坂 知明
(おんだ ゆうじ) (もりひろやす) (きざか ともあき)

バッジ作成に至る歴史をご存知ですか?
構想から10年、水先人会のバッジが作成されました。

横浜歴史探訪

～ YOKOHAMA HISTORY ～

一級水先人
梶山 秀行
(かじやま ひでゆき)

横浜元町にも住んだ 「唐人お吉」

大変な美人。上背170cmはあったといわれ、今でいうインスタ映えする女性である。名は斎藤きち、1841年今の愛知県知多郡で生まれ4歳の時に父親に連れられて伊豆下田に移り、7歳の時養女となった。後年幕末の激動に翻弄され当地で朽ちて果てた。昭和の時代、女優水谷八重子、佐久間良子、太地喜和子らによって新劇で上演されたことから今では「唐人お吉」と呼ばれる。彼女についてはサザンオールスターズ原由子も「唐人物語」として楽曲を出している。

私は元町と山下町の間を流れる堀川沿いに住んでいるので、川向こうの元町、その先の坂を上り山手地区をよく散策する。

ある時元町の一角にお吉の写真が掲示されたことがあったことから彼女について興味をもった。そして伊豆下田に出かけ横浜元町との関係を調べた。



プロフィール

- 1841年 愛知県知多郡にて船大工市兵衛の次女として生まれる。
- 1856年 16歳の時、下田で大工鶴松と将来を誓う。ハリス、下田に領事館を開設。
- 1857年 17歳、幕府役人の勧誘により鶴松との関係を引き裂かれハリスの侍妾になる。
- 1859年 ハリスは米国公使となり江戸に移る。
- 1868年 28歳、横浜で鶴松と再会、元町に二人で住む(明治元年)。
- 1871年 31歳、鶴松とともに下田へ。髪結い業を営むが夫婦仲悪し。
- 1889年 49歳、下田で乞食の群れに入る。
- 1891年 51歳、下田稲生沢川、門栗ヶ淵で投身。

舞台は伊豆下田

安政の大地震（1854年）に襲われた伊豆下田は地震と大津波で壊滅状態となった。

お吉は路頭に迷う家族を親身に世話してくれた大工の鶴松と将来を誓う。下田は日米和親条約締結により函館とともに開港となった。次いで日米の間に通商条約を結ぶべくハリスが来日、その交渉を先き延ばしたい幕府はハリスに下田へ滞在することを求めた。ハリスは玉泉寺に外国として初めて領事館を置いた。鶴松は当地幕府役人伊佐新次郎により武士にしてやるといわれやむなく下田を去る。お吉は支度金を積まれ数人の女性とともに領事館に務めてハリス付きとなった。しかし世間は彼女の美貌とずば抜けた支度金を妬み、羅紗緬(洋妾)と揶揄、蔑視した。当時の若い二人にお役人に抗う術はなかったであろう。お吉はハリスが江戸に移ると最寄りの静岡県三島宿へと去った。

次の舞台は横浜元町

横浜に移ってきたお吉は鶴松と劇的な再会を果たす。鶴松は江戸幕府瓦解により武士を失業、横浜吉浜町(JR石川駅北口付近)にあった造船所で船大工として働いていたのである。元町は川から山手の方に向かって元町河岸通り、元町通り、元町仲通りからなる。

その元町仲通から山手の方に向かって三つの坂がある。代官坂(名主石川徳右衛門が住んでいたことから)、汐汲み坂、桜坂である。下田出身の人達が元町と中華街の間にある中村川護岸工事人足として働いていた。二人は彼らの桜坂「下田長屋」に住んだ。

下田長屋があった桜坂は元町から上って行くと二股になっている。左側はフェリス女学院脇に通ずる石段、こちらは通称「フェリス坂」または「乙女坂」と呼ばれる。他方はなだらかな坂道で下田長屋があった。こちらは別名「土方坂」といわれる。

やがてお吉は鶴松が仕事に出かけている間、元町通の横浜銀行元町支店横小道で今も営業している「石川屋」(元は米屋、酒屋、今は小料理屋)に顔出しするようになった。そこのお内儀と筆頭女中に可愛がられ、その縁で紹介してもらった髪結屋で技術を身に着けた。二人には実に平和な3年であった。

余談ではあるが鶴松が通う吉浜町には幕府がフランス政府と提携して設立した「横浜製鉄所」という官営工場があった。そこは横須賀製鉄所開設準備のため技術取得、艦船修理等が役目であった。同所は1879年(明治12年)石川島平野造船所を創業した平野富二に貸与され横浜石川口製鉄所と改称された。平野は5年後、建物、機械一式全てを石川島本社工場に移設、やがて同社はIHIとして屈指の会社に成長していった。

再び下田へ

鶴松とお吉は故郷への郷愁が募り3年の元町生活に終止符をうって下田へ帰る。しかし故郷の人達はお吉のことを忘れていなかった。再び蔑視の眼に晒された。髪結い屋を開いたものの近づくとも腐れると罵られやがて夫婦仲まで悪くなった。二人は別れ、お吉は再び三島に去った。ほどなく鶴松はぼっくり病(心臓麻痺)で亡くなり今は下田の稲田寺に眠る。再び下田に戻ったお吉は地元の有力者の支援を受け「安直楼」という小料理屋を始める。それも上手く行かず、荒れた生活を送るようになった。やがて乞食集団に身を投じ、そして51歳で投身自殺した。触ると指が腐るとしてどこも遺体引き取りを拒む中、下田宝福寺住職がそれを哀れみ同寺の集合墓に葬った。後年女優水谷八重子ら支援者により墓隣に独立墓が建てられた。



もう一つの舞台、 下田「玉泉寺」

その境内に不釣り合いなほど大きい石碑が2つある。米国領事館であった時、ハリスが高熱を發して床に伏した。彼が讒言で「ミルクが飲みたい」というのを聞いたお吉は当時ご法度の牛乳を求め、妊娠している農耕牛を捜し歩いた。苦勞して牛乳を手に入れハリスに飲ませた。所謂「お吉の牛乳買い」である。一つの石碑は下田が我が国の牛乳売買の黎明となったこと、そこを創業の地とした森永乳業が「牛乳の碑」として寄贈した。お吉は九合八勺の牛乳に米3俵程の代価を払ったという。当初いかに高価であったことがわかる。もう一つの碑は1979年、米国大統領ジミーカーターが夫人、娘を伴って訪問したことを記念して建立された。同寺が歴史的な日米外交関係発祥の地であったからである。

後年同寺住職が歴史的資料散逸を心配、それに対し快く保存のための支援を引き受けたのが今話題の渋沢栄一である。

女優太地喜和子は1992年10月伊東市で「唐人お吉」を演じた。帰路、彼女が乗る車が海中に転落、他の同乗者は逃げおおせたものの彼女のみ生還できなかった。

哀れ、時代に翻弄された
鶴松とお吉よ! 合掌

私のキャリア

My Career

vol.11

一級水先人
小林 昌弘
(こばやし まさひろ)

テニスこそ我が人生

1. 僕がテニスを始めたわけ

最近でこそ世界レベルの日本人選手が出てきてテニスは日本でも人気上昇していますが、以前は相当マイナーなスポーツでした。当時高校生の僕は学内スポーツ大会でテニスの試合に出たところ、か弱そうな相手に負けてしまったのです。結構ショックでした。これが大学でテニスクラブへの入部を決めた大きな動機になりました。始めた頃は、すぐに達人になって誰にでも容易く勝てるようになるのだという根拠のない自信に満ちていましたが、実際に対戦すると、勝つということは容易なことではありませんでした。

2. 学生時代のテニス

商船学校のテニスの先輩からの教えを受けた僕はそれなりに時間とお金をかけてきたつもりですが、今に至るまで始めた頃からあまり上達していません。僕はシングルスゲームが好きですが、勝つことよりも負けることの方がずっと多いです。学生時代に「テニスとは負けることにめげず、どうすれば少しでも強くなれるか日々努力することが大事」ということに気づかされました。

3. 飛田給でのテニスと結婚

本社勤務を命じられ慣れない原油タンカーの安全担当補佐だった頃、毎日がストレスとの戦いでした。そんなとき勤務していた会社には飛田給体育場という素晴らしいテニスコートがあり、そこでの毎週末のテニスは体と心を正常に保つのに大きな役割を果たしてくれました。テニスをしている間は安全対策などといった難しい事柄は一切忘れ、白球を追うことに集中してクタクタになって帰ると不思議と月曜日の朝、会社に行く元気が湧いてきたものでした。実はこのテニスコートで知り合った女性と結婚することになり、今に至るも山手のテニスクラブでこの女性(今では妻)と一緒にテニスをしています。

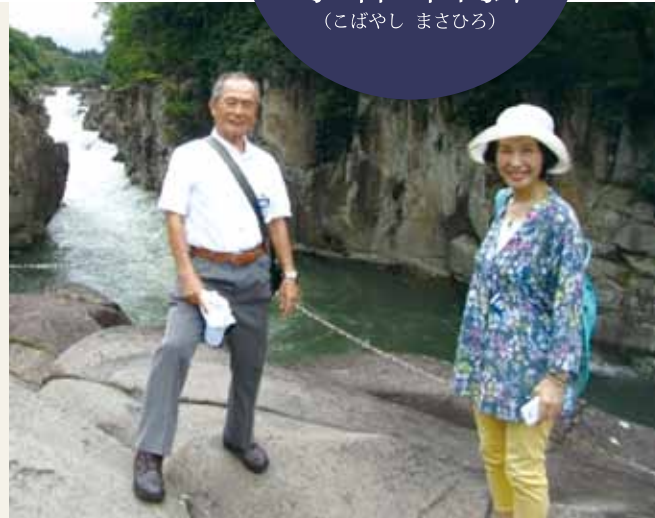
4. テニスと故障

テニスは瞬間的に関節に大きな負担がかかる場面が多く、全身のあらゆる関節部分の故障がつきもので、僕も65歳の時にゲーム中に右膝の半月板を損傷し、手術一步手前までいきました。右膝をかばううちに今度は左膝が痛くなってしまい、両膝併せてよくなるまでに5年以上かかりました。膝を痛めながらも仕事をこなし治療に努め、またゲームに復帰できる程度まで回復して今に至っています。

5. これからのテニス

スピード、スタミナ、スプリントの3要素がテニスでは大事ですがもっと必要なものが相手を戦い倒すのだというファインティングスピリットです。しかし、最近は親善を旨とするテニスに変化してきているのが実情です。それでも夫婦で共通の趣味として楽しむことのできるテニスは本当に素晴らしいスポーツで、夫婦間のコミュニケーションをとるのにとってもよい機会になっています。

たかがテニスされどテニス、今までもこれからもテニスを中心にして僕の生活は回っていくでしょう。死ぬ直前までテニスをやって、コート上でばったり倒れて人生を終えるのが僕の理想の終末です。



▲筆者(左)とテニスが結び付けてくれた妻

私の旅行記

～山岳溪流釣り旅行のお話～



一級水先人
青木 極
(あおき きわみ)

勉強よりさかな釣り

私の趣味はヨットの他に溪流釣りもあるのです。現在まで北海道から鈴鹿山脈までの山岳溪流釣りの旅を楽しんでおります。車(D/Eng x 4WD)での移動は往復1,000kmに及ぶこともありますが、熊除けと事故の連絡要員に家内も(丁重な対応を約束で)同行しており、安全対策は万全です。

子供の頃から自転車に釣り道具を乗せ三浦半島を走り回り、久里浜の火力発電所が無い海岸ではクロダイ釣り、京急の操車場がまだ田畑の頃、河川では鯉・フナ・ウナギ等を夏冬関係なく追い回しておりました。勉強等の興味は全く無く、定期試験や期末試験中でも半日で帰ると夜まで釣りをしておりました。



溪流にて「一投入魂」の筆者 ▲

溪流釣り始め

山岳溪流釣りの動機は、20年程前、休暇中で下船後、弟からの誘いに乗り山形最上川支流での釣りが最初です。銀山温泉の旅館前の川にも竿をいれましたが、温泉の流入する川はあまり釣れません。近隣の溪流に移動後それなりの釣果があり、次第にのめり込み今に至っております。

北海道・東北へ

私の溪流釣りの釣り場を少しお教えいたしましょう。北海道の川には漁業権が無く、通年を通して略何処でも釣りは可能ですが、魚種・漁法と期間の定めがあります。熊に要注意し、2人以上で道路から見える場所をお薦めします。釣れます!!何処の川でも一投一尾に近い、川の中では魚が足元に寄って来ます。しかし、持ち帰れませんので全てリリースとなりますが一日100尾は釣れます。

東北地方は、時期を選べば良く釣れます。梅雨時期と産卵前の9月下旬、原発事故の影響が残る一部を除き、それなりに入渓する川についてWEBの動画などで情報を入手してから行くこととしておりますが、一日20尾も釣れば大漁です。

ゴルフ場で釣り

恥ずかしながら失敗例もあります。駒ヶ岳から流れ出るゴルフ場内を横断する細い溪流を釣り上がって行くと、釣り人は無く、良い釣果に夢中になっていた時のことです。軽トラックが猛スピードで近寄り警備員から「ゴルフ場内は釣り禁止」と、車に乗せられ裏の木戸から山側の場外に出されたことがありました。悔しいので再度川を釣り上がると、溪流はカラフルな別荘地の家々の庭先を流れ、ここもイワナの型が良く大漁でありました。今でも時々この別荘地は釣り場としております。

家人と共に

釣りの時期は雪が残る早春の3月から9月30日までの間に年4回程度。老齢となり、釣り場の選択は釣果より温泉宿に近い川が基準となりました。以前は日出前に川に入り朝食前に宿に戻り、その後再度日没まで川に入っていました。現在は宿9時出立16時帰着を目安にまずは温泉を優先、老体の疲労回復に、湯に浸かる時間の方が長い様です。

溪流釣り旅行は自然環境真只中です。出会った動物は熊・キツネ・狸・リス・鹿・カモシカ、頭上の猿と目が合う等大変楽しい出会いです。山中の緑の木々や動物は海上生活が長い我々のリフレッシュには最高ではないかと感じております。

同行の家内は毎回一人で車の中で待っておりますので、宿はまあまあのホテルとし、帰途の道中では必ずアウトレット、道の駅また名所旧跡等に立ち寄ることにし、常にご機嫌を損ねることなく感謝申し上げ、今日まで恙無く溪流釣りの遠征旅行は続けております。

今年も釣りと温泉計画は満載で何処に行くか、迷っておるところです。

伝えたいこと

水先人になり、これまで蓄積された技能・技術・経験、そのほか日々感じていることなどについてのメッセージ。

元一級水先人
杉森 四郎
(すぎもり しろう)



▲十勝清水時代
(冬スキーを履いて通学した)

1. 原野から海を目指す

S21年北海道十勝清水に生まれる。小学校4年生の時「15少年漂流記」を読み、青い海、青い空、白い雲、そしてヤシの木が繁る南の島に憧れた。初めて海を見たのは小学校の修学旅行の時、海霧にかすむ寒々とした釧路の海、この海の先にたわわに実るバナナを想像した。

商船学校在学中のこと、世界で初めて長さがなんと290mもある、13万トン(DW)の船ができるという。



昭和41年竣工の東京丸15万DWT ▲
(ジャパンアーカイブより)

普通の学校の校庭では直線で200mさえ取れないのだから、信じられないほど大きい。この会社にお世話になろうかなと思っていたら、さらに大きな15万トンの船ができるというので、その会社に入れてもらった。

2. 大型タンカー時代

日本経済の拡大に伴い原油の消費量は5%/年増の勢いで、タンカーの大型化が進んだ、S46年37万トン三航、S49年50万トン二航での新造船の受け取り、これらの船は喫水が27m/28mと深く、積み荷航海はマラッカ海峡が通れずロンボック海峡経由であった。

S62年船長拝命、一つの船種で20年、知り尽くしていたつもりでも船長職は一寸違う、初めての仕事は投錨作業だったが、レッゴウのオーダー(錨をおろす指示)を出すとき足が震えた。PG(ペルシア湾)航路は概ね単調で、マラッカ通過に焦点を合わせ他のはのんびりしていた。猛暑のPG港内でビールが飲めない(禁酒)ことには閉口した。喜入基地から国内他の製油所へのパナマックス型での転送航路は、約1ヶ月間ほぼ毎日、入出港作業があり忙しかった。



▲昭和46年女性船員もいた37万DWTタンカー
(前列右から7番目が筆者)

3. 喜入でのMooring master時代

喜入港はプライベートバースで、水先区にはなっていない。4バースあり、原油船のみ約700隻/年入港する。着離棧作業はムアリングマスターと称する、船長実歴3年以上経験者が3人、24時間交代で類似行為を行っている。前任者との交代引継ぎ期間は1週間、3日目に前任先輩に分りましたので、お帰りくださいと言ったら「君はこれから幾らでもできるじゃないか」といわれた。そういう操船の好きな人がいるということだ。「針路法」と称するマニュアルがあり、その船のその時の質量を若干裁量するくらいで、最終接岸速度を5cm/secにコントロールするときを除いて殆ど個人的パフォーマンスの出る幕はない。



▲喜入基地の全景

この港ではS45年稼働以来いまだに着離棧時の事故は発生していない。ここで経験したことは、マニュアルを守れば安全であること、船速を4ノット以下3ノットに落とせば何とかできること、そして面白いことに急ぐと遅くなり、ゆっくりやると寧ろ早くなるということだった。

様々なことを
思い出す桜かな

4. 東京湾水先区水先人

水先新時代が到来した。今までの社会では私のような出自の者が東京湾のPilotになれるなんて全く考えられないことだった。かくして就業し生意気にも大は小を兼ねるくらいの不遜な考えでいた。また、自分には危険になると後ろ髪が逆立ち警報が鳴る安全装置がついている、さらに予測計がついていてこのままいくと何分後にどうなるか予測できる、なんて思っていた。しかしこれらの仕掛けはある船種限定のものだと痛感させられた。船舶が輻輳しているから常に他船との関係や順番に気を付けなければならないし、直進して着岸から90度回頭して入る狭いスリップ、反転して出船付けまでバースの数が多いし、それぞれに船種が違う上に気象海象が加味されるから相当複雑にな

5. 海大水先教育センター時代

教育センター派遣で私に期待されたことは、次の方が(後任)希望し易いように、報告宣伝することだった。センターでは一級から三級まで約50名が入校してくる。シラバスに基づき各科目毎の授業と、水先区別の操船シミュレーションをするが、実質国家試験向けの予備校的存在である。試験日が近づくにつれ殺気立ってくる。この年は残念ながら不合格が数人出たが、幸い1か月後の追試で全員合格となった。3年後2枚目免状取得のため海大に行ったとき、後任の先生が「これ見て」という。壁に合格祈願のお札が何枚も貼ってある「どや、2年連続で全員合格やで!」恐れ入りました。

ここで知ったことは、港によって操船方法が違うということだった。ある港では複数Tugを使用する場合、まず両舷に取りバース全面で取り替える方法をとる。付近強潮流があるのでかなりの船速でアプローチしバース至近で急ブレーキをかけるためとのこと。またある港では、バースへのアプローチは1モーションである、何故ならこの港に綱取りボートはいないからである。



▲2019年のPT会にて(前列左から5番目が筆者)

る。中でもTugなし錨入れの着岸作業は操船の原点であろうか、一瞬の緩慢も許されない。船種ではPCCが多分最も操船難度の高い、外力の影響を受けやすい船であると思う。むしろ巨大船のほうが安定性が良く、「動かないけど動き出したら止まらない」ことを念頭に置きながら操船すれば安心できる。2年ほど経ってからPilotとTug間の意思疎通を図るためPT会(Pilot&Tug)と言う仲良し会を作った。

Tugの世界も新旧交代が進んでおり、お互い新人同士意思疎通を図りましょう程度のものだが、三級の人には目新しく良かったようだ。今でも続けているが、親睦を図ることはよいことだ。Tugの人と接する機会が少なくなった現状ではなおさらである。

6. 二枚目免状

ある水先区が支援を要請しているが応募がない。私の考えとしては困っている人がいて助けてと言ったら、何とかすべきだと思う。そんな信条に基づき先が短い身ながら応募した。免状取得のために結構時間と労力を要する。養成機関での講習、当該水先区での実習、そして一次、二次試験等々。旅費、休業補償など自分にとって持ち出しの無い様にしてくれる分、連合会から支払われる必要経費は莫大なものになる。とはいえ水先制度を維持するためには現時点で最良の方法なのであろう。水先区をもっと少なくして、極端には箱根で二つに分けるなどの方策が検討されているように聞いている。もうすぐ一級になる人たちに聞いてみると、募集があればいくらでも応募するとのこと、頼もしい限りだ。確かに40年も働くには、東京湾でも狭すぎるかもしれない。

7. 終わりに

できるだけ長く海に関係する仕事がしたいという希望がかなって本当に良かった。私は幸せ者である。常に自問する「お前はだれか、お前は十分強いのか」。強ければ優しくなれる(かも知れない)。私はこれからMajor Inspector(危険物船の検査員)を目指します。歩けなくなるまで海を見ていたい!!

最後に皆様のご健勝とご多幸、何よりご安航をお祈りいたします。

◀2019年OBが集まり懐かしい喜入基地を表敬訪問した(左端が筆者)

PEOPLE

水先人と水先人に日々係わる人々

水先人会・各協力会社様のメンバーを紹介する「PEOPLE」も早3回目となりました。今号では「水先人会総務部」・協力会社である「東京湾海事事業協同組合」様の各メンバーにスポットを当てさせていただきます。

#04

総務部

General Affairs Department

総務部は、総務及び教育訓練と二つのグループ(G)で構成されています。共通業務として日々の来客対応や電話取次ぎをはじめ他の部署に属さない事項まで幅広く対応しています。総務Gは、労務、広報、施設・情報管理等を担当し、教育訓練Gでは、水先人、修業生の教育関連事務全般を担当しています。

また、今回の新型コロナウイルス感染拡大など突発的な事案に対しても日頃から社会全体の動きに注意を払い臨機応変に対応できるよう心掛けています。

水先人が遂行する公益性の高いサービスが安定的に提供できるよう各部署と連携し「縁の下」の力持ち」として一同、日々精勤して参りますのでよろしくお願い致します。



《後列左から》

次長兼総務グループ長

青木 香緒里

(あおき かおり)

… 確か…前号にも登場していたような(笑) 4月に異動してきました。

次長兼教育訓練グループ長

伊藤 純也

(いとう じゅんや)

… 仲間とのフットサルのために日々体づくり! そろそろ限界を感じてます…

部長

押本 耕市郎

(おしもと こういちろう)

… 「働き方改革」推進中! 次は「肉体改革」を目指し階段を利用しましょう(笑)

《前列左から》

教育訓練グループ係長

村石 美香

(むらいし みか)

… 仕事と育児、わんこのお世話と時間に追われておりますが、充実した毎日を過ごしております♪

総務グループ

浅沼 理美

(あさぬま さとみ)

… 最近、ハーブティーにハマっています。お気に入りには、ローズヒップティーです。

総務グループ係長

遠藤 知恵子

(えんどう ちえこ)

… コロナ感染早い終息を願っています。コロナに負けないよう努めます。

#05

海事事業協同組合

Maritime business cooperative

「東京湾海事事業協同組合」は、「個人事業主」である水先人の方々の様々な事務を代行する組合として、代表理事以下数名の理事等(全員、現役水先人)と従業員3名で運営されています。

パイロットビル2階の事務局では、日々のお仕事に必要な「水先業務用施設」(水先艇等)に関する各船社、曳船会社との契約や費用の支払い等を組合員(水先人)に代わって代行、また福利厚生面では慶弔金などの支給等を行っています。

《左から》

事務長

重村 由利子

(しげむら ゆりこ)

… 観光スポットの山下公園が今ではMYお散歩コースに!

川崎 里佳子

(かわさき りかこ)

… 愛犬「ひめちゃん」に毎日癒されています♪

佐藤 三奈

(さとう みな)

… 働き始めて何年目か、本気で思い出せません。…馴染みすぎ?



一級水先人
長谷川 弘一
(はせがわ ひろいち)

家のみんなは麻雀好き



筆者: 中央と麻雀メンバー ▲

「うーん、これは…、捨てる牌がないんじゃないか」と父は言った。「天和」をあげたのである。麻雀をやる人ならその役満がいかに稀有なものであるか分るはずである。

家庭麻雀の発端は父だった。50年ほど昔になるが、会社の付き合いで父が麻雀を覚えて来たのが始まりと記憶している。もともとゲーム好きの家族(父、母、妹との4人)はトランプとともに麻雀も始めたのである。

その後、小職の結婚とともに家内が麻雀を始めたのであるが、これが無類のゲーム好きというか勝負好きというか、プロ雀士のテキストで勉強し、わが家のレベルもワンランク上となったように思う。ちなみに妹の旦那様も覚え、めでたくわが家の麻雀記録ノートのメンバーになっている。当然のことながら3人の息子、妹の息子(甥)、家内の側の兄弟姉妹及び姪・甥もメンバーとして記録ノートに名前が載っている。かように、わが家はお盆や正月といわず4人集まれば麻雀をやるような一族と相成った次第である。

二級水先人
上沼 尚大
(かみぬま なおひろ)

ふる旧いもの

新しいものと古いものはどちらがお好みでしょうか? 昔から「女房と畳は新しい方が良い」などと申しますが、一概にそう言えるものではないと考えております。従ってあえて敬意を込めて「旧い」と書き表すこととします。なお、「女房」については未経験のためコメントは差し控えさせていただきます。

愛用の旧いものは、手回し計算機です。いわゆるタイガー計算機です。毎月の収支計算などで活躍しています。なかなか掛け算や割り算を行う機会に恵まれません、頑張れば開平方で√の計算もできますし、解がマイナスになった際のベルの音がまた泣かせます。しかしながら、この計算機を使うたびに電卓の偉大さを痛感します。

他にもロードブレーキの自転車が欲しくて、郵便局の払い下げ品に乗っています。また2層式の洗濯機も愛用しています。



▲ 手回し計算機



第3回東親杯ゴルフコンペ

二級水先人 古江 剛志
(ふるえ たけし)

2020年2月、「東京湾で働く皆様とゴルフを通して親睦を深め、より良き関係を築く」を理念に掲げる第3回東親杯が開催され、ゴルフを始めて間もない私ですが初めて参加しました。今回は、水先人及び水先業務を支援していただいている方々に加え、元水先人も参加され、伊藝幹事の最終目標である10組、総勢39人が参加され大変盛大なものとなりました。

前日の「春一番」の吹き返しの影響で大量の花粉が舞う中、悪戦苦闘しましたが、暖冬の青空の下、全員が無事にホールアウトしました。



▲ 多くの参加者と晴天に恵まれました

ゴルフカートのリーダーズボードで、前半のスコア39と首位で折り返したのは大ベテランの田村和雄水先人でした。しかし、見事、スコア81で「第3回東親杯優勝&ベスグロ賞」の完全優勝を成し遂げたのは村田雅文水先人となり、新たなスターが誕生しました。

私にとっては初めてのゴルフコンペ参加となりましたが、適度な緊張の中、同伴競技者とも楽しくラウンドすることができました。次回の第4回東親杯は8月に予定されており、スコアに関係なく水先業務関係者の皆様と一緒にゴルフを楽しむことができますので、興味のある方は是非参加してみませんか。



▲ 懇親会にて

▲ 右:優勝の村田雅文水先人
左:前回優勝の寺田千葉事務所長



2019年3月入会一級水先人家族と役員との昼食懇談会

一級水先人 増山 正巳
(ますやま まさみ)



会場は、みなとみらいのグランドコンチネンタルホテル 31 階にある中国料理「カリユウ」。東京湾を見渡す絶好の眺望とオリジナリティ溢れるコース料理で楽しい会となりました。これまでご主人を通してしか水先業務を知ることがなかった奥様方は、役員方に実際の経験やアドバイスを伺い、業務の内容と背景をより深く理解することができたようです。

健康で充実した生活と仕事をするためには盤石な家庭の土台が必要との認識を得た昼食会でした。今回は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

2020年2月9日、船蔵会長(当時)はじめ当会役員のご厚意により、昨年入会した一級水先人5人とその奥様方、及び当会役員の昼食会が行われました。この会は日頃サポートしてくださる奥様方に感謝するため、今回初めて開かれました。婦人会のある水先区もあるようですが、昨年入会した一級水先人の奥様同士では初めての顔合わせとなりました。

人事短信

【受章】

令和2年4月29日、春の褒章に際し、次の方が栄えある受章の栄に浴されました。おめでとうございます。【黄綬褒章】業務に精励し他の人の模範となる方に授与される褒章

黄綬褒章



一級水先人
田村 和雄
(たむら かずお)



一級水先人
中下 三郎
(なかした さぶろう)

【役員人事】

6月5日第1回通常総会において、下記の通り新役員が選任され就任しました。

会 長 /	竹中 五雄 (新任)	理 事 /	林田 清孝 (再任)
副 会 長 /	松本 恭昇 (再任)	理 事 /	足立 和也 (新任)
副 会 長 /	眞 鍋 治 (新任)	理 事 /	雨宮 伊作 (新任)
副 会 長 /	村田 雅文 (新任)	理 事 /	今津 隼馬 (再任) ~ 東京海洋大学名誉教授 ~
理 事 /	高木 信之 (再任)	監 事 /	松永 逸郎 (新任)
理 事 /	岩城 基治 (再任)	監 事 /	建部 和仁 (再任) ~ 弁護士 ~

【退会】



元一級水先人
上野 幹造
(うえの みきぞう)
平成22年4月入会
令和2年4月14日退会



元一級水先人
浦嶋 幸保
(うらしま ゆきやす)
平成15年1月入会
令和2年5月31日退会



元一級水先人
杉森 四郎
(すぎもり しろう)
平成21年4月入会
令和2年5月31日退会



元一級水先人
田村 和雄
(たむら かずお)
平成14年1月入会
令和2年6月29日退会



元一級水先人
渡辺 雅史
(わたなべ まさし)
平成14年1月入会
令和2年6月30日退会

長い間、
安全運航
お疲れさ
ま
でした。



【職員人事】

4月1日付けを以って次のとおり辞令が発令されました。

《異動》 総務部次長兼総務グループ長 青木 香緒里	オペレーション部 係長 伊藝 和彦
業務部水先料管理グループ長(課長) 高木 栄子	業務部 部長補佐 小野 友雄
業務部業務支援グループ 係長 上田 岳大	
《任命》 オペレーション部 次長 小坂 謙次	オペレーション部 主任 森 裕康
オペレーション部 係長 山田 良太	オペレーション部 主任 若畑 雄嗣
オペレーション部 主任 斉藤 大貴	



本年6月1日付で入会した
二級水先人を紹介します。



二級水先人
杉山 幸生
(すぎやま ゆきお)

一回一回の業務を大切に成長して行きたい

- ①出身は何处ですか？
東京都
- ②水先人会を志望したきっかけは？
海運会社勤務時代に魅力的な水先人の仕事に何度か出会い惹かれたこと。
- ③乗船した主な船種は？
LNG 船、自動車専用船、コンテナ船
- ④自分自身のアピールポイントは？
海運会社での海上／陸上勤務経験と30代の体力です。
- ⑤今後の抱負を聞かせてください。
一人前の水先人を目指し、一回一回の業務を大切に、成長していく所存ですので宜しくお願い致します。

